

早く、早く速く……

追いつかれる前に……！

隠れなければ……





女の子!?



火?



振り切られた
様ですね
そこにもいません



的場



いえ、発芽だけでも
確認できれば問題
ないでしょう

いずれ時期が来れば
あちらから現れる

戻って、
来ますかね？



ええ
必ず

1つに戻ろう
とする、
その為アレを
分けたんです

こちらは後はただ
待つていればいい

願わくば多少
見目の良いものを
選んでくれている
といいですがね！

さて

何に寄生したのか
楽しみですね



立待月

夜会様に捧ぐ

未成年者の方の購入・閲覧はできません。

エロリーK.A.E.のDressだる





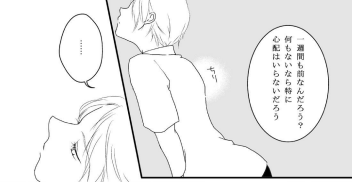
夏目、
お前……

また何か
拾ったね？



森を歩いていたら
口の中に女が入ってきた
そして、
飲み込んだ、と。

つまり……



一週間も前なんだろうや
何もないなら特に
心配はいらないだろう

そー

……



治まるまで
持つておいで



でも、その
甘ったるい
匂いを何とか
しなきゃだねえ

そわ

そわ



ああッ

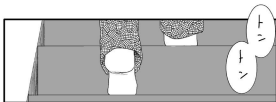
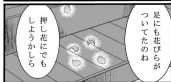
ヒノエ……

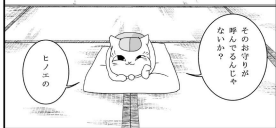
でもたまらない
匂いだねえ！

お前は
可愛いねえッ

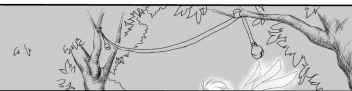
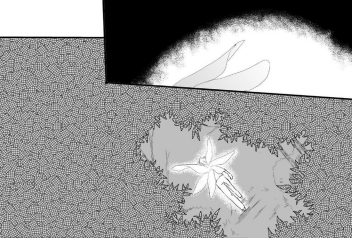
……











離しながやうと
来ましたね













ソレとまぐわって
ください



あなたは…
おれに何をさせ
たいんですか…？



君が離しベを取り込んで
しまったので、受粉が
できなくなつて
しまったんです

このままでは
枯れてしまいます

うあっ

分かりますよね？



責任、
とって下さいね









た、助け…

も…わり



受粉が終わらないと
その背中のもものも
抜けませんよ

射撃しなくても
上手にイケたじや
ないですか



大丈夫ですよ

雄しべはあと
4本しかありません
もうちょつと
愉しんで下さい

HARU





いやだ

う……き



いい、

いか、せ……てう



受粉が終われば
結実と同時に連する
はずなんです……



メスを充たすには
オスの妖氣が足りなかった
様ですねえ







もっか...

く...

たり、な...

もっか

下...

もっか、出して

終わらせて...

とんでもない
ごくつぶしです
ね
君といっ子は

グッ







君は危険ですね

私の中の責務やら
プライドやらを
粉々に見え
なくしてしまう

いや、溶かされて
いくようですよ





この妖はいわば、
君と私の子です

妖力が強い
わけではないが

害がなく寄生した
生物の特性を
受け継ぐんですよ



君に似た妖が
欲しかったんです



もしかして…
そんな事の為に
こんな事した
んですか…?



いえ、別の妖に
寄生させるつもり
だったんですよ



擬態能力のある妖を
用意していたんですが
この妖が逃げてしまって

美しいモノにしか
寄生しないんですが

メスは見目が良いが
種ばかり増えて
粗悪になってしまうんです

結果として、
君の子ですので
私としては最も
望ましいですがね

おれの力が
欲しかったんですか？

そんなものの
為に、こんな…

あなたは…

君が欲しかった
んです

あの時の…会合の時の
式宴の君が忘れられ
ないんです

この世には戯れに
手折ってはならぬ
花もあると知れ

ここでお前を
食いちぎってやろうか！

私の本気を見たいですか？
では、私の胸でも喰いますか？

先生ッ

戯れ？

それで手折れるならば
安いものだ

痴れ、蔵い屋が！

夏日はそんなに
安いものではないわ！

先生ッ

もう、いいよ

冊ろう

あなたは金の為だ
仲間の為だと言う
けれど

金が欲しいんでも
あんな奴らを
仲間と思ってる
とも思えない

おれはあなたが
分らない

どれが本当の
的場さんですか？

さて…

私にも分かりません



その額の！

え？

ああ、この間
貴志くんについてた
花びらを押し花に
してみたの

不思議ねえ、
色が変わら
ないのよ

お花って素敵ね
こうして時を止めて
しまえば、いつでも
癒されるもの

.....

花は...

花は人を癒す為に
きれいに咲かないと
いけないんでしょうか？

それは違うわ

...

人の為にきれいに
咲こうと思っても
きれいに出来ないわ

花が自分の為に美しく
在ろうとする、精一杯
咲く姿に惹きつけられる
のだと思うの

人の為じゃなく、
自分が思う通りに
咲くのがいいの

ドラマの受け売り
なのだけど

ふふ、

おれを縛るのは、
言葉と裏腹の



あの優しかった君が…



分らない子ですねえ
あんな目にあつたのに…

私が気付いて
振り向くまでに
早く逃げなさい

逃げません

おれはあなたを
もつと知りたいんです

私が…
いやでしょう？





謝罪が欲しい
んじやありません
ただ、分かりたい

分からないものは
諦めてはいけない
んだと思います

だから、伯母さんも
おれを諦めたり
しないでください



それで、
いいんだと思います





初めての方も喜びの方もこんにちわ、こらたるです。
Twitterでフォローさんが読かれた素数素数を、今回許可を頂き
勢いで描いてしまいました。
内容がかな〜りアイタタに他解してしまいましたが、やっぱり夏日は
啼かせてみたくなるのは人として仕方のない事。
やっちまった感たっぷりですが、少しでも楽しんでいただければ幸いです。
最後になりましたが、夜会さん、いつも素数音程ありがと〜！
もっともっとはっちゃけていっぱい喜ばれください
では、また次回でもお会いできる事を祈りつつ、

立待月

黒名取推進委員会

2012.08.11

発行者：エロリーヌ・ド・エロロ・こらたる

[右手風置]<http://natumevaltomo.web.fc2.com/>

[黒名取推進委員会：なちよりの部屋]

<http://blogs.yahoo.co.jp/natumevaltomo>

連絡先 natumevaltomo@yahoo.co.jp

印刷 太陽出版 さま